

平成 28 年 8 月 23 日

各 位

会 社 名 栄 研 化 学 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 執 行 役 社 長 和 田 守 史
(コード番号：4549 東証第1部)
問 合 せ 広 報 部 長 渡 辺 裕 之
(TEL 03-5846-3379)

栄研化学と HUMAN、LAMP 法による結核遺伝子検査薬
およびマラリア遺伝子検査薬の海外販売契約を締結

栄研化学株式会社(本社:東京都台東区、以下 栄研化学)は、HUMAN Gesellschaft fuer Biochemica und Diagnostica mbH^{*1} (社長 : Ralph Neuberger、本社 : ドイツ・ヴィースバーデン、以下 HUMAN) と LAMP 法による結核遺伝子検査薬・測定装置 (以下、TB-LAMP) ならびにマラリア遺伝子検査薬・測定装置の海外市場(中国、韓国、台湾、タイは除く)における販売契約を締結しましたので、お知らせいたします。

結核は世界三大感染症の一つであり、毎年960万人が新たに発病し、150万人が死亡しています。現在、結核が蔓延している高結核負担国の地方の検査所では、主に顕微鏡検査で診断していますが、感度が低く、その精度は検査者の経験と技量によるところが大きいため、地方の検査所でも使用できる簡易・迅速な遺伝子診断法が求められております。

栄研化学は、FIND^{*2}(本部：ジュネーブ) と共同でLAMP法を利用した簡易・迅速な結核の遺伝子診断法の開発を進め、日本では平成23(2011)年から発売しております。患者の早期発見、早期治療、更には感染拡大防止に寄与できることから、高結核負担国におけるTB-LAMPの使用を推進するため、世界14ヵ国で評価試験を実施し、昨年、WHOの推奨取得手続きを行いました。そして、この度、高結核負担国の顕微鏡検査を実施している施設でも利用することが可能で、顕微鏡検査に代わるあるいは顕微鏡検査を補強する検査として、推奨を受けることができました。

また、マラリアは、結核と同様世界三大感染症の一つで、亜熱帯・熱帯地域の約100ヵ国で流行しており、2012年には2億700万人が感染し、推計62万7,000人が死亡しています。栄研化学がFINDと共同で開発したLAMP法によるマラリア検出試薬は、4種類のマラリア原虫および熱帯熱マラリア原虫単独を約1時間で高感度に検出できます。本試薬の感度の高さを活かすことで、現在汎用されている顕微鏡法やイムノクロマト法では見逃されていたマラリア患者を精度よく見つけ出すことが可能です。

栄研化学は、HUMANとの販売契約により、これら試薬の世界的な普及を進め、世界の結核およびマラリア対策に貢献していきたいと考えております。

なお、本件に関しましては今期の業績に織り込んでおり、当期の業績予想に変更はありません。今後、適時開示の必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

<用語解説>

*1 HUMAN

HUMAN は、160 カ国以上に臨床検査薬、装置、研究用製品を開発、製造、販売しているグローバル企業です。

HUMAN に関する情報は、以下URLをご参照ください。

<http://www.human.de/en/index.php>

*2 FIND

Foundation for Innovative New Diagnostics の略。革新的で新しい検査法を開発するために設立された非営利目的の基金です。2003 年5 月のWorld Health Assembly（世界保健会議；WHO の最高議決会議）において発足し、その設立目的は、新興国に適した革新的な感染症検査薬の開発を支援し、手頃な価格の製品の普及を推し進めることで、人々の健康を支え、発展させることです。

FIND に関する情報は、以下URLをご参照ください。

<http://www.finddx.org/>